

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月11日

団体名 大正琴と人を結ぶ会

代表者 神谷 千歳

構成員 // 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

大正琴による生涯学習活動を通じて、大正琴音楽の次世代への伝承と芸術文化の振興に寄与するものであり、岡崎市民が心身共に健康な状態を維持することを目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
6/24	テジみの風 大友	介護施設入居者 及び地域の高齢者	15人	大正琴による懐かしいメロデー コンサート
7/8	介護センター テジみ庵	〃	40人	〃
10/1	やほぎかん	来館者	100人	大正琴アンサンブル演奏
12/3	ダイヤーズ からふる美合	地域の皆さん	35人	〃

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

大正琴の伴奏で懐かしい歌を歌うことにより、特に高齢者の方々には、気力と元気を取り戻していただけた。若い方、大正琴を聴いたことがない人々にも奥まかを伝えた。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

介護施設からボランティア演奏の依頼が多く、地域の高齢者の方々の健康面、特に精神的なところでお役に立てたと思う。今後は次世代の振興の為、若い方との交流も積極的に計画したい。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。